欠損部補修材（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ）

ラ　ク　モ　ル

【 施 工 要 領 書 】

令和 8 年 10 月 20 日

二瀬窯業株式会社

特　　長

1．　一発で5 ～60 ㎜程度の欠損部補修ができます。
2．　耐候性、耐ひび割れ性、接着性に優れています。
3．　高性能の粉末樹脂を配合していますので、規定量の水道水と混練するだけで所定の性能を発揮します。

用　途　・　性　状

1．荷　　姿

10 kg/袋　紙袋

2．適 用 部 位

コンクリート、モルタル欠損部

3．適 用 下 地

コンクリート、モルタル、ＰＣ板 等

4．標準練水量

水道水　約2.9 Ｌ／袋

5．塗　　厚

5 ～60 ㎜

6．標準施工面積

約0.28 ㎡（30 ㎜厚）

7．練上がり量

8.2 Ｌ／袋
１m^3＝約122 袋

施 工 関 連 資 材

混入型接着増強材、吸水調整材

ユニレックス３

エチレン酢酸ビニル(ＥＶＡ)系合成高分子エマルジョン
内　容　量　18 ｋｇ　　ＰＩ缶入
標準施工面積　約600 ㎡/缶　（5 倍希釈、120 ｇ/㎡塗布時）

1.下　地　処　理

1．下地の補強

・ 下地の脆弱部分や硬化不良部、劣化部位等は除去し、健全な下地を露出させ、水洗い清掃または高圧洗浄を行ってください。鉄筋が露出している場所、および発錆している場所は錆を除去し、防錆処理を行ってください。必要に応じて剥落防止措置等を行ってください。

2．吸 水 調 整

・ 下地を十分に乾燥させた後、施工面全面にユニレックス３の 5 倍希釈液にて吸水調整を行ってください。吸水調整材を塗布した下地表面が乾燥していることを確認（指触乾燥）してから、次の工程に進んでください。目安としては、4 時間以上です。（気象条件により異なりますので必ず事前に確認してください。）

2.材 料 の 混 練

・ ラクモル　１袋につき、水道水（約 2.9 Ｌ）をハンドミキサー等で練りダマが残らないようによく混練してください。

・ 練り水量の管理は厳密に行なってください。

・ 練り置き時間は、夏期 20 分　冬期 40 分以内としてください。

3.塗　り　付　け

・ 下地に十分にコテ圧をかけて材料をすり込んだ後、すぐに追いかけて所定の厚みになるように塗り付けてください。

・ 施工厚さや部位によっては、アンカー等を併用してください。

※塗厚が 25 ㎜以上で一箇所の塗り面積が 0.3 ㎡以上になる場合や上げ裏部分には、ステンレス製アンカーピンを打ち込み、ステンレス製ラスを張るかネット等で安全性を確保してください。

・ 塗厚が 60 ㎜以上になる場合は、2 回以上に分けて塗り付けてください。そのときの工程間隔は，目安としては、夏期　中 1　日以上、冬期　中 3　日以上となります。

4.養　　生

・ 直射日光、通風や降雨に十分に注意し、必要に応じてシート養生等を行ってください。

・ 養生中は、振動や衝撃に十分に気を付けてください。

・ 次工程までは、夏期 3　日以上　冬期 7　日以上の養生期間を設けてください。

注　意　事　項

・ 気温が 3 ℃以下及び 3 ℃以下になりそうな時は原則として施工を行わないでください。

・ ラクモルには水以外のものを混ぜないでください。

・ 直射日光や降雨などに十分注意し、養生は確実に行ってください。必要ならばシート養生などを行ってください。

・ ラクモルの練り置き時間は夏期 20 分 冬期 40 分以内としてください。また、水を入れての練り返しは避けてください。

・ ラクモルの保管は、直射日光、湿気を避け、パレット等で地面から離して保管してください。